

会 告

ジオテキスタイル技術委員会の委員公募のご案内

ージオグリッド補強土壁のLCC（ライフサイクルコスト）に関する検討委員会ー

ジオテキスタイル技術委員会は、ジオテキスタイルに関する技術的な課題について検討を行うために設置されている常設の委員会です。第1期（平成10～12年度、舘山勝委員長）では、補強土工法、排水工法、試験法に関する現状把握と課題の抽出が行われました。第2期（平成13～15年度、古関潤一委員長）では、限界状態設計法の導入に関する課題に焦点をあて、具体的な検討が行われました。第3期（平成16～18年度、古関潤一委員長）では、第2期の流れを引き継ぎながら、ジオテキスタイルの標準的な試験方法が検討されました。それらの成果は報告書にまとめられ、会員諸氏に公開されています。

今期は、ジオグリッド補強土壁を対象に「LCC（ライフサイクルコスト）に関する検討」として、活動します。このテーマに積極的に取り組もうと考えておられる方のご参加をお願い申し上げます。参加ご希望の方は、下記の連絡先に、氏名、所属、連絡先（住所、電話、FAX、電子メールアドレス）を記載のうえ、ご連絡をお願いします。

1. 委員会名称

ジオテキスタイル技術委員会

ージオグリッド補強土壁のLCC（ライフサイクルコスト）に関する検討委員会ー

2. 活動期間と委員会開催予定

3年間（2010年3月まで）、全体委員会を年2回、WGを年4回程度開催

3. 活動方針

維持管理の時代を見据え、構造物の建設コストを、原材料の製造から廃棄の段階までをトータルして算定するLCC（ライフサイクルコスト）の考えが広まりをみせている。ジオグリッド補強土壁に関して、高規格の補強材、ジオテキスタイル排水材や地盤改良との併用技術、新しい材料試験・性能評価法に関する技術開発が既に進められている。LCCはこれらの技術の有利性を説明するのに非常に適している。本委員会では、ジオグリッド補強土壁のLCCの算定法を開発することを目的とする。

ジオグリッド補強土壁のLCCの算定法を確立するには、1）建設時、破壊が生じた後の復旧時のコスト算定、2）地震や降雨による破壊確率の計算法、3）ジオグリッドの材料特性の経年変化のモデル化の3つがまず必要になる。本委員会では、上記の3つの課題に対してWG活動と、それぞれのWGで得られた成果をまとめる全体活動の2本柱で、委員会活動を行う。

連絡先：宮田喜壽（防衛大学校 建設環境工学科）

Fax 046-844-6755 E-mail miyamiya@nda.ac.jp

〒239-8686 横須賀市走水1-10-20 (Tel 046-841-3810 内線 3527)